

海で描いた親子の思い出



祝津親水緑地の防波堤の壁に、親子10組が協同作業で絵を描いた。キャンバスとなった防波堤には、イルカやタコなどがかわいらしく彩られ、参加した親子は貴重な思い出を鮮やかに描いた。(7月15日)

市内の戦跡を見てみよう



今も市内に残る砲台跡や高射砲陣地跡など、パネル18点を展示した「室蘭の戦跡パネル展」が民俗資料館で4日まで開催されている。戦後61年。戦争時の面影を残すパネルから、平和の大切さを考えよう。(7月14日)

「歓迎」日照のみなさん



国際友好都市の中国・日照市から、チャオ・ジェンホア校長を団長に中学生たち19人が友好親善のため来蘭。星蘭中学校では、給食の「やきとり丼」を身振り手振りで食べ方を教えるなど、触れ合いから友好と友情を深めた。(7月13日)

まちかど トピックス

港にぎわう青空フリマ



シーサイドフェアが中央ふ頭で行われた。衣類や雑貨などの「お店」が軒を連ねたフリーマーケットでは、目当ての品を探すお客さんが大勢つめかけ、港で買い物を楽しんだ。(7月16日)

北海道スチールワイヤー操業スタート



同社の開所式が新日鉄構内の工場で行われた。同社は、自動車エンジンの給排気弁を動かすばねなどに使用される「オイルテンパー線」を、新日鉄の特殊鋼線材から供給を受けて加工、製品化する。ものづくりのまち室蘭に、新たな技術が加わった。(7月7日)